

コロナ!コロナ!!...で1年過ぎたねえ。

大変な一年だったよねえ～。

ホント、ホント。

いろんな国の人と出会って、お互いの文化を知り合おうって協会の活動はほとんどできなかったねえ。

一気にオンライン化しちゃった感じだよね。

英語をしゃべろう会はZoomで楽しんでるって!

ブラジルからの参加者もいるようだよ!

世界のお惣菜もFacebookデビューしたよ。

国際交流協会にも黒船到来?



でも、日本語ひろばは一年間休会しちゃったね。

外国語を学ぶのは、やっぱり生のFace to Faceがいいよね。☹️

ホームステイも活動ができなかったね。家庭での受け入れは厳しいけど、外国人研修生を受け入れるJICAはオンラインで頑張ってるって。

絵本のセミナーはできて良かったね😊😊😊

どこでもドアが欲しい!!

with コロナでうまくつきあう
しかないよね～～～☹️☹️

〈お知らせ〉

令和3年度 総会 & セミナー

★場所：くすのきの家 交流ホール

★日時：4月25日(日)

総会：午後2時～

セミナー：午後3時～

デモクラティックスクール主宰

今井恭子さん

「アフリカで出会ったヒト・モノ・コト」

～ジンバブエでの体験を通して～

募集中!

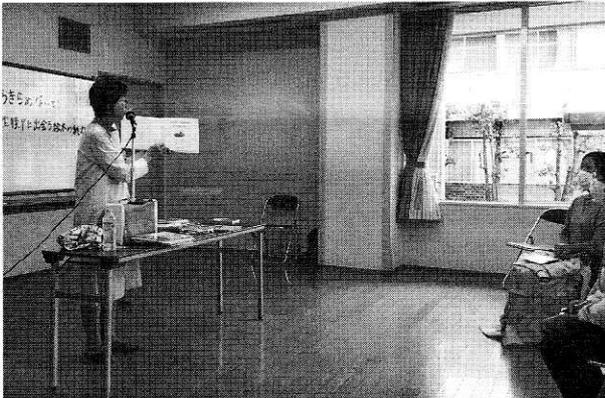
2022年、協会設立30周年!だから、記念のやりたいこと募集してるよ!!

ハッピーエンドをあきらめないで ～作家が語る 人生後半に出会う絵本の魅力～

11月22日（日）くすのきの家で、絵本作家の正高もとこ氏（岩倉市在住）を講師に迎え、セミナーを開催しました。

学生時代のイラクでの遺跡発掘に携わった体験やアメリカでの生活、子育てをしながら絵本を書き始め、自分の夢をあきらめず、40歳を過ぎて「くものわたあめ」を出版されるまでの道のりなどを優しい口調で聴衆の心にしみこむように語ってくださいました。

また、ご自身の作品の読み聞かせも取り入れながら、絵本は子どもだけのものではなく、「人は人生で3回絵本を読む」ということも話されました。



「一度目は自分が子どものとき、次は子どもを育てるとき、三度目は人生後半になりそれまでの人生を振り返るとき。」

会場には、様々な世代の方々が集まっていますが、あらためて絵本を読んでみようという思いに駆られたのではないのでしょうか。絵本との新しい出会いが待っているかもしれませんね。



盛況だった コミュ・クラッセ!

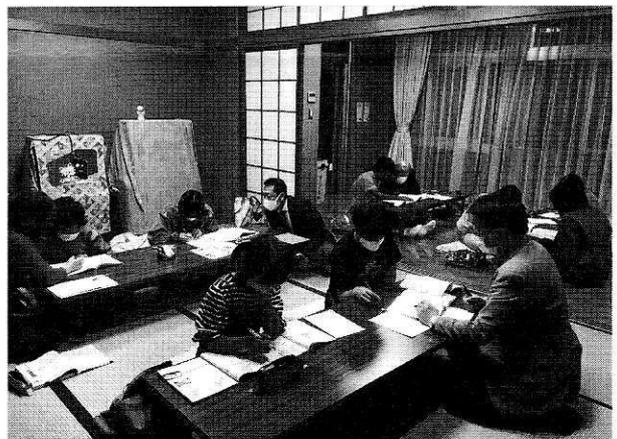
コミュ・クラッセ：
コミュニティでコミュニケーションをといながら学ぶ居場所として名付けました。

外国籍児童生徒への学習支援活動「コミュ・クラッセ」を11月18日から20日まで、第五児童館で開催しました。南部中学校で希望者を募り、三日間で延べ20名の生徒が集まり、とても熱心にテスト勉強に取り組みました。参加した生徒の感想です。

「社会を教えてもらった。今まで歴史の話になると難しい言葉があつてほとんどわからず、苦手意識を持っていたが、歴史の流れを教えてもらったことで、家で勉強するときにつなげて考えることができ、歴史がわかるようになってきた。」

指導に当たったスタッフも子どもたちの熱心さに引き込まれ、休憩することもなく、一緒に充実した三日間を過ごすことができました。

今回の取組をきっかけとして、市内の学校や地域と連携して定期的、継続的な支援につなげていきたいと思っています。



～お知らせ～

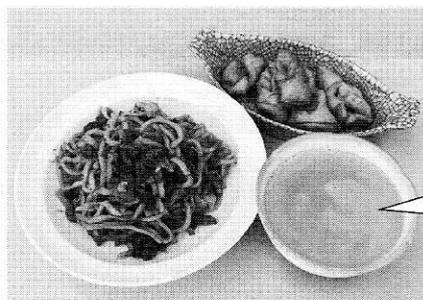
例年3月に開催していましたが外国人健康相談・法律相談は、今年度は中止になりました。

〈コロナ禍で……〉

新型コロナ感染拡大によって、いろいろな事業が翻弄された一年でした

「世界のお惣菜～モンゴル編」 Facebook に掲載！

毎回楽しみにされている方も多い「世界のお惣菜」ですが、今年度2回目も参加者を募って行うことは厳しいと判断しました。1月末、講師とスタッフで料理を作り、Facebook でレシピと写真を公開しましたので、パソコン、スマホなどから「岩倉市国際交流協会」で検索し、Facebook からご覧いただけます。ぜひ、ご家庭でモンゴル料理にチャレンジし、お楽しみください。



お料理を教えてくださいました
エイミーさんと
ユルさん

左から時計回りに
ツイワン、バウルサク、
ミルクティーを作りました。



3月末、帰国します。

「英語をしゃべろう会」 on Zoom

生涯学習センターの会議室に集まり対面式で英語をしゃべる活動はできなくなり、9月からZoomを使用して活動を再開しました。以前同様に事務局がテーマを決め、皆でワイワイ楽しく会話をしています。

8月にブラジルに帰国したメンバーも現地時間の早朝にもかかわらず参加したり、高齢になり外出しにくい会員も参加したりしています。Zoomは、単に代替としての道具ではなく別の可能性も見出しています。英語で言えないときは日本語でもOK！というフレンドリーな雰囲気です。興味のある方は是非ドアをノックしてみてくださいはいかがでしょうか？

問合先：岩田 (090 - 8457 - 3997)



ブラジルからだよー

「日本語ひろば岩倉」

「日本語ひろば岩倉」はスタッフと学習者の対面式授業スタイルでしたので一年間休会していました。その間、スタッフ有志が日本語でしゃべる機会を設けたり、オンラインや季節の便りで近況を確認したり、個別に日本語学習支援に対応したりしてきました。また、昨秋から、コロナ対策を講じた2021年度授業再開に向け、準備してきましたが、緊急事態宣言が1月に再発出され、再開時期は現時点では未定となってしまいました。日本語を学びたい方、日本語学習を支援したい方、決定次第お知らせしますので、それまでお待ちください。

問合先：桜井 (090 - 8320 - 9591)

ホームステイは…交流叶わず (^^)

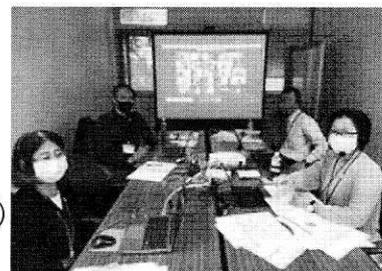
今年度は、コロナ禍で、名古屋芸術大学の留学生も JICA の研修生も来日が叶わず、協会との交流もできませんでした。このような状況で、現在、日本滞在の長期研修生や留学生を家にステイする事業も難しく、残念な一年となりました。状況が落ち着いたときには、また笑顔で交流したいものです。皆さんもそのときにはぜひホームステイのホストになってくださいね。



JICA の研修 on line



いつもであれば、ボランティアの皆様のおかげで、ホストファミリーと JICA 研修員の笑顔の写真がこちらに掲載されていましたが、残念ながら、この未曾有の危機で、昨年はその交流は叶いませんでした。そこで、今回は JICA 中部での研修 with コロナの様子をご紹介します。通常は各国から研修員に来日頂き、研修を行うのですが、現在は来日が困難なため、遠隔（オンライン）による研修に取り組んでいます。初の取り組みで、皆で腐心する過程で、新たな気づきや学びも多くありました。例えば、複数国実施時の時差や休日を考慮



コロンビア国別研修遠隔フォローアップの日本側講師陣



オンラインイベントに参加した長期研修員たち

した日時設定や、その国の電力・通信事情に紐づくネット環境。また、誘惑の多い自宅で受講する場合に、より求められる研修員の集中力や、対面とは異なる、オンラインならではの講師の技量。一方で、身体に障害があったり、家族の事情で家を簡単に離れられない方も遠隔研修であれば参加できたり、実際の対面講義では聞きづらい質問や、ちょっとした耳寄り情報をチャット機能を活用して効果的に発信できる等の利点もあります。今や大規模公開オンライン講座（MOOC）等、いつでもどこでも何でも学べる中、改めて JICA が提供する「研修」の意義やアプローチを見つめなおすきっかけにもなりました。そして一番の収穫は、遠隔であっても「つながる」という重要さの再認識。これは今までも、これからも変わることはないでしょう。まさに JICA のビジョン、「信頼で世界をつなぐ」。世界と JICA と、そして岩倉市の皆様とこれからもつながっていければと思っています。「JICA 中部研修業務課」

会員継続手続き及び新規会員申込手続きのご案内

事業は会員皆さまの会費と岩倉市国際交流事業補助金で運営されています。引き続き、会員継続手続きとして下記の口座へ会費のお振込みをお願いします。新規会員申込手続きについては、下記問合先にご連絡をお願いします。

会費振込先 いちい信用金庫愛北営業部 普通預金 1016300

口座名義人 岩倉市国際交流協会 内藤和子

会費 1口1,000円とし、会計年度ごとに個人会員（家族会員）は3口以上、高校生以下はジュニア会員として1口、団体会員は10口以上です。

問合先 内藤 (0587-66-7347) 竹安 (090-1230-2444)

会報 COM第103号 (2021年3月) 事務局 〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2 (内藤方)

発行 岩倉市国際交流協会

TEL・FAX 0587-66-7347

印刷 大橋印刷所

<http://www.iies.info/>